

暑い中

内藤 真理子

アケビが半分枯れてしまった。

三十年前に植えたもので、当時「アケビは不幸を呼ぶと言われるのでやめた方が良い」という人もいたのに、紫色の花と細長い上品な葉っぱがとても気に入っていたので、そんな迷信には耳を貸さなかった。

三十年経つ間には、幸も不幸もあったが、アケビ自身はぐるぐるとねじれながら太い幹となり、枝は白い棚一面に広がって日陰を作ってくれていた。

それが最近になって広い範囲で枯れ枝が混じるようになった。アケビ自身の不幸に何とかしてあげたいが、連日の猛暑でクーラーの利いた部屋から外に出る勇気がわかない。見れば庭中草だらけ。

三十年前は冷房など我が家には無く、夏になると大量の汗をかきながら、せっせと草取りをしていた。若かったから……。

ひと働きを済ませると、冷えたスイカを切ってかぶりついた。そして、玩具みたいななかき氷の道具を使って氷の山を作り、それに明治屋のシロップをかけ、氷イチゴや氷メロンにして食べたものだった。

その、冷たくて美味しかったこと！

そうだ、昨日買ったスイカが冷蔵庫で冷えている。

そう思った私は一念発起して、蚊取り線香を片手に外に飛び出した。梯子に登り、アケビ棚に絡んでいる枝をほぐしていく。枯れた枝は元気な枝と絡み合って長く続いている。それを辿って行くとより太い枝に……。

夢中になっているとアケビは少なくなり直射日光が情け容赦なく照り付ける。だが、やり始めると面白くてやめられない。最後は太い幹が二本絡み合っただままぽきりと折れた。アケビの後片付けが終わってもまだまだと、今度は草取りを始めた。長く伸びた草は抜きやすく、取ればすぐに成果が現れる。大満足をして部屋に戻り、冷えたスイカを食べた。みずみずしくてあっさりとした甘さで、その美味しかったこと！

翌日は、思いつきり汗をかいた所為か、しばらく続いていた偏頭痛がすっかり治っていた。

やっぱり夏は汗をかかなくっちゃ！ えッ、年寄りの冷や水？